

18禁

やだあ〜(笑)
妹にオシッコし〜し〜し〜

可愛いわよ〜♡
写真撮るから、
こっち向きなさい〜♡

もっとJINNAI♡
ガパン♡

してもらってる♡

女尊男卑社会で 来っ娘に堕ちたお兄ちゃん!

〜入学前の家庭の騷編〜

TS
リボルバー

「また不合格……」

『成人』する年齢は、
女子が20歳で男子は30歳。

国がそう定めたので、当然高校に入れる年齢も
大きく変化した。

女子は15歳で高校入学の資格を得る。

男子は25歳まで我慢しなければならぬ。

というか、男子も入学試験を受けるだけなら
25歳前でもできる。

でも、その場合は女子と同じ試験を受けなければ
いけない。

男子では、受かりつこない通常の試験を……。

25歳以上の男子向け入学試験、

通称Ⅱ男子救済試験Ⅱじゃなきゃ

男子の合格率は0.01%にも届かないのだ。

当然だけど、女子は救済試験でない方の、
普通の試験受けて入学する。

合格率は、この10年で99.9%を切ったことは
一度もない。

つまり男子と女子の成長度・実力はそのくらい
差が離れている……。

それでも僕は、普通の入学試験を受け続けている。
だつて……。

……男として、負けたくないから。

「そんな偉そうなこと言ったって、
また不合格だったじゃないっ！……！
お尻出しなさい！
来年は『男子救済試験』があるんだから、
しっかりと女性に対する敬意を身につけて、
可愛い男の子でいれるように
きつちり特訓しないとイケないのに！
受かりもしない試験に熱を上げてっ！……！
罰としてお尻叩きよっ！……！
お母さん、今日という今日は許しませんからね！」

「クスクス。
お兄ちゃん、また試験受からなかったの？
あんなの、勉強しなくても受かるでしょ、普通。
お・バ・カ・さ・く・ん(笑)」



「仕方ないわよ。亜弥。
春樹のオツムじゃ、掛け算が精一杯なんだから。
小学生以下の頭と、小学生並の身体で
高校入学は無理があるって事♥」

「そうだけどささ。
香里姉えだつて、高校入試ぐらいで
こんな苦勞してないでしょ？？」

「ぶっ。
苦勞の仕方が分かりませ〜ん。
そもそもアタシ、勉強で苦勞したこと無いし〜？？」

「香里奈も亜弥も当たり前前のこと言わないで頂戴！
男の子なんて、この程度なの！
だから身の程をわきまえることが大事なのに……。
この子つたら……！」

右で僕を小馬鹿にしているのが、一番下の妹。亜弥（あや）ちゃん。

高校どころか大学まで飛び級したお陰で、既に大学院生です。専門は『男子はいかにして女子を見習うべきか』の研究だそうです。



年齢で言うと、僕の6つ下。僕が中学1年生だった頃、彼女はまだ小学3年生でした。でも、当時から僕よりも頭が良かったです。昔は、とつくみあいの喧嘩もたくさんしたけど僕が勝てたことは一度だってありません。いつも泣くまで、一方的にやられ続けました。

左で笑うのが香里奈(かりな)お姉ちゃん。
亜弥ちゃん同様、飛び級で大学に入りましたが、
その頃スカウトされて、今では『モデル』のお仕事を
しています。
自分の仕事を『女の中の女がする仕事』と、
誇りに思っているみたいです。



年齢で言おうと僕の1つ上ですが、
もつとずつと大人な雰囲気があります。
僕の知らないことも何でもよく知っていて、
ママにはナイショですが、
本当はとつてもHな性格です。

昔は怖い時もあったけど、
最近は優しい時もあります。

そして僕のお尻を叩いているのが、僕のママです。
名前は順子(じゅんこ)。
仕事はデザイナーで、主に男子生徒用女兒服の
デザインをしているそうです。
後ろにかけてあるお洋服はママの最新作で、
来年の春に発表予定だそうです。



ママは年齢を言おうと怒るので、言いません。
でも僕を出産した時、21歳だったそうです。

ママは僕が来年の入学試験に落ちると
考えているみたいで、最近特に厳しいです。
自分のお仕事も忙しいはずなのに……

そして、ママに羽交い締めになされて逆さのまま
お尻を叩かれていたのが僕です。
来年から高校に入学できる資格を得ます。
でも出来れば、普通の試験で……、
女子と同じ試験で入学したいです。



男だからって馬鹿にされる謂れはありません。
お勉強だつて頑張っています。
でも……、今年もダメでした。

だからお尻叩きもしようがありません。
我慢するしか無いのです。



Vto Vto

お尻下げない!

STRENGTH



おのれおたふさ(笑)

もっとお尻を高く上げな(笑)

その年齢でお尻叩きとが
自分で男でも叩きとが
一応は男でしかよいか?
お尻を叩くか? 思わな(笑)?



超情けないね〜？
お兄ちゃん♡

もうやめてお尻叩き止めるかは、お母さんが決めます！
無駄よ！

早く〜早く〜泣き止ませよう！
た(笑)。

「もしかして試験に落ちたらからお尻叩きさされてるって思ってるんじゃない？
違おうわよっ！……！
いつも言ってるでしょ！？」
『男の身の程をわきまえて、おしとやかに。器量よく、言葉遣いに気をつけて。可愛らしく、女性に気に入られるように努力しなさい』って……！
それなのに女子に混じって試験受けて……！
不合格になったことを責めてるんじゃないの！
女子と同じ土俵に立とうとしたことを叱ってるのよっ……！
分かる？
男は可愛く！おしとやかに！
女の人には敬意を持って！」



「そーいうコトも分からないから、『男』なんでしょ？
掛け算もまともに来ない癖に、プライドだけは一人前なんだからさ」

「分かる〜！
せめて可愛く出来れば、多少は大目に見てあげるのにな〜♡」

「ほらっ！」

お尻下げないっ……！まだ終わっていないのよ！
今日はママがパンツ下してあげたけど、
次からは自分で下着を下ろしなさい……！
相手がママじゃなくても……。
例えば高校の先生とか、同級生の女子とかでも
同じようにね！」

「お尻叩きは『生のお尻』が基本だからね。それに、自分でパンツ下ろせるぐらいにいじらしくないと、女の人はムカつくかも。」

「春樹。アンタさつきから全然謝ってないじゃない。お母さんにちゃんと謝らないと、一生お尻叩き終わらないよ? さつきと反省して、心から謝らないと。お母さんが大変でしょう? お尻叩きしてあげる方の身にもなりなさいよ。全部、全部、ぜんぶアンタの為に お尻叩きしてあげてるのよ?。」

「まだダメよ!」
「まだ許さないっ!」
あと15回はお尻を叩くからね!」



「あれ? あれれれれ?」
『反省』とか『あと15回』とか言われたら、急にオチ○チンの先つちよから何か垂れてきた。これつてさ、カウパー液だよな?」
お兄ちゃん♡♡♡
感じまくり?」
お姉ちゃんに『反省しろ』って言われて...、お母さんに『あと15回』って言われて...、感じまくり?。」

「ま、それだと一生アタシには勝てないけどね。」
「亜弥! あんまり春樹をいじめないの!」
春樹は男の子なんだからしようがないでしょう? これから恥ずかしい思いをして少しづつ、一個ずつ覚えればいいのよ。」

「あ、そうそう！
お兄ちゃんには知らないだろうけど、
高校つて男子は同級生の女子を
『お姉様』つて呼ばないといけないんだよ？
ちよつとでも粗相をしたらすぐに『お姉様』から
お尻叩きされるんだよ？
だから今のうちに、お尻叩きにも慣れていたほうが
いいんじゃない？」

「あら、最近はそうなの？」

「ママ、私の頃からずっとそうだよ？」

「……じゃあ少しでも早く
学校生活に『慣れて』いた方がいいのかしら」



「それは間違いないと思う！
いくらお兄ちゃんでも『男子救済試験』なら
合格するだろうし。
少しでも早く慣らしてある男子は『お姉様』から
可愛がってもらえること間違いなし！」

「アタシも賛成かな。
春樹は今日から男子高校生と同じように
女兒服着て生活するようにしたら？
アタシたちの事も『お姉様』つて呼ばせてさ」

「あ、それ大事かも。
ぶつちやけ来年からは私よりも年下の女子を
『お姉様』つて呼ばないといけないんだし！」

「……確かに。
春樹には必要なことかもしれない……わね」

「決めたわ。春樹っ！」
今日からあの壁にかけてある女兒服を着て
生活しなさい。アレ以外は着ちゃダメっ！」
それから香里奈だけじゃなく、亜弥のことも
『お姉様』って呼ぶこと！」
妹の亜弥のことをすんなり『お姉様』って呼べるよう
に従順さを身につけなさい！」

「もちろん下着も女兒モノオンリーね。
男子は高校では女兒パンティー、女兒ブラ着用だか
ら♥」

「名前は？」

「……名前？……？」

「ママ働き過ぎだよ〜！忙し過ぎだよ〜！」
今の高校は、男子を女の子の名前で呼ぶんだよ！」



「あら、そうなの？」

「元が春樹だから『春子』がいいんじゃない？」

「春の樹だから、『さくらちゃん』だと思っようよ〜」

「ダメよ。」

全部却下。

春樹の女の子の名前は『よし子』っ！

決定だから！」

「え〜、なんで〜？」

「そうだよ〜。『さくらちゃん』が可愛いと思っような〜」

「春樹が女の子だったらつけようと思っていた名前が
『よし子』なの！」

これは決定ですっ！」

こうして僕は『春樹』から『よし子』と呼ばれることになりました。

男性用の衣服は全てその日の内に処分され、真つ白ブリーフは全てピンク色の、可愛いリボンのついた女兒パンティーに。Tシャツは全てピンク色の、服の上からでも揉み心地の良いゼリーパッド入り女兒ブラに。

僕としては、初めて袖を通す女兒用デザインの可愛いお洋服。

なんだか頼りなさを感じて、そわそわします。

そんな僕をママと『お姉様』2人は、

「少しでも早くその服に慣れるように」と、お外に連れ出すことにしました。

真つ赤に腫れあがるまでお尻を叩かれた直後だから逆らうわけにもいきません。

もしも逆らいでもしたら、さつきよりもさらに厳しいお尻叩きのお仕置きが待っているでしょう。

「よし子、早く来なさい！」

貴方は末っ娘なのよ！？

『お姉様』をお待たせしないの！」

「は……は……」

「嫌だあー！こんなの嫌だよおっ！ー！」

「ダメよ。男子高校生になったら、毎日お股の検査があるんだから。今のうちに慣れておかないと」

「お股が汚れてたり、オシッコ臭い男子は、ソツコ―で懲罰室行きだからね」。パンツの中は特に綺麗にしておかないとね」

「やだ、亜弥ちゃん。」

「なんで写真なんか撮ってるの？」

「末っ娘の成長記録だよ」。

「可愛い妹（年上男子）が、従順でいい子に変わっていく様を院の研究資料にしても面白いかな」って（笑）」



「嫌だ！嫌だ！嫌だあ！撮らないでええっ！ー！」

「あら？」

「教えていなかっただかしら？」

「高校生になっただけなら、男子に拒否権なんて一切無くなるのよ。」

「何でも女性の言うことには絶対服従！」

「今までは甘やかしてきたけど、これからは、社会に出て生きていけるように厳しく育てますからねっ！！」

「クスクス。」

「末っ娘の恥ずかしい部分が丸見え」（笑）。

「あー、恥ずかしい♪」

「オチ○チンの付け根から、先っちょまで」

「ぜーくんぶ丸見え」（笑）」

体験版はここまでです。
続きは本編でお楽しみ下さい。m(_ _)m



《Special Thanks to》

スパンキングの魅力 僕のお尻にお仕置きを様

<http://spankingfm.blog13.fc2.com/>

マゾヒストの喜び様

<http://kazowk.com/>

M男な二次作様

<http://monanizisaku.blog.fc2.com/>

エロ同人NAVI様

<http://dnavi.eromoe.com/>

DL同人観測所様

<http://dlldojin.blog28.fc2.com/>

HENTIリンク+萌様

<http://shirayuki.saiin.net/~henti/>

symats' Forced Feminization Stories (強制女性化小説・情報)様

<http://fftgmania.blog95.fc2.com/>

桃色魔同人様

<http://blog.livedoor.jp/momoiroma/>